

太田南小学校歯科医

篠崎 広治さん (54) 太田市 東別所町

人
ひと



「子どもたちが歌っているのを見るのは、やっぱりうれしい」と話す篠崎さん

児童に自作の歌を贈る

健やかな成長願って

太田南小で先月末に開かれた「6年生を送る会」。全校児童による「大きな屋根の下で」の合唱が出し物の最後を飾った。学校歯

科医の篠崎広治さんが作った歌だ。趣味のピアノは5歳のときに始め、「シンガー・ソングライター

を夢見たことも」。曲作りはお手の物で、3年前の講話で歌った自作「歯みがきシュッシュ」は、今も南小で昼休みに流れている。新体育館の落成に合わせて歌を作ってほしい。一昨年、当時の校長から依頼があった。「最初は何をテーマにしたものかと困り果てた」と振り返る。

難航した作詞作業の中、ふと小学生の自分に立ち返った。「体育館の屋根は大きく見えたよな」。子どもを優しく包み、成長と笑顔を見守る屋根。浮かんだイメージをもとに詞を書き上げ、曲を付けた。

「体育館で元気に、健やかに育って社会に羽ばたいてほしい」。それが歌詞に込めた思い。南小児童は出会いと別れの春にこの歌を歌う。少し気恥ずかしいが、ほほ笑ましくもあるという。